

## 6 ボックスローダー・ヘルパー

〈ボックスローダー〉

- ①チーム競技並びに個人競技ともボックスローダーは、原則として当該チーム及び当該出陳者が用意して下さい。
- ②ボックスローダーは、ボックスの後ろに位置し、ボックス後部板の末端に両足を載せている、もしくは触れている状態で直立し、ボックスにボールをセットする時及び転がったボールを回収する時を除き、手を後ろに組んでいなければなりません。
- ③ボックスローダーは、声援により犬を勇気づけることができます。
- ④ボックスローダーは、審査員によりそのヒートが終了したことが宣言されるまで、所定の位置を離れてはなりません。

〈ヘルパー〉

チーム競技においては、ボールの回収及びハードルの設置を行うヘルパーを用意することができます。

## 7 競技

競技は2レーンで2チーム（頭）が行います。

〈チーム〉

- ①2チーム以上の出陳申込みがあった場合に行われます。
- ②参加チーム数が3チーム以下の場合は、リーグ戦（総当り）とし、4チーム以上の場合は、トーナメント戦（勝ち上がり）とします。
- ③組み合わせは抽選とします。
- ④トーナメント戦において、3席は決定戦によって決定します。
- ⑤ヒートを3回行い、2回勝ったチームが当該競技の勝利チームとなります。
- ⑥リーグ戦で勝敗が同率の場合は、ヒート勝率によって決定します。ヒート勝率も同率の場合は、ヒートのベストタイムによって決定します。
- ⑦1ヒートごとのレーンチェンジは行いません。

〈個人〉

- ①8頭以上の出陳申込みがあった場合に行われます。
- ②全てヒートを3回行い、そのうち最も速いタイムを当該犬のベストタイムとします。
- ③スモール・ミディアム・ラージの各カテゴリーにおいて、ベストタイムの順によって席次を決定します。
- ④ベストタイムが同タイムの場合は、犬の年齢が若い方を上位とします。
- ⑤1ヒートごとのレーンチェンジは行いません。

※チーム競技1チームのみ、個人競技7頭以下の申込みであった場合、競技会は中止といたしますが、デモンストラクションとしてフライボールを行います。

## 8 ヒート

〈チーム〉

- ①ヒートのスタートは、メインジャッジの合図で開始します。
- ②スタートの合図の前に犬の身体の一部がスタート・フィニッシュライン（2本のスタートフィニッシュポールを結ぶ架空の線）を越えた場合は、再度スタートとなります。ただし、二度続いた場合、当該犬はフライングとなります。
- ③犬は静止した体勢、またはランニングの体勢からスタートすることができます。
- ④犬は4つのハードルを飛び越え、ボックスのペダルを踏み、ボールを啜えたまま4つのハードルを飛び越え、戻って来ることとします。
- ⑤走行中の犬の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを越えた時、次の犬がスタートすることができます。万一、これに違反した場合、当該犬はフライングとなります。
- ⑥走行中の犬が、ハードルを転倒させた場合は、そのハードルが立っていると仮定して飛び越えていれば失敗とはなりません。ただし、メンバーは走行の妨害又は誘導とならない限り、ハードルを立て直すことができます。
- ⑦4頭目の犬（又は、再度走らなければならなかった犬）の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを先に通過したチームが、そのヒートの勝者となります。
- ⑧ヒートの終了は、両チームの4頭目の犬がフィニッシュした時とします。

〈個人〉

- ①ヒートのスタートは、メインジャッジの合図で開始します。
- ②スタートの合図の前に犬の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを越えた場合は、再度スタートとなります。ただし、二度続いた場合、当該ヒートは無効と判断されます。
- ③犬は静止した体勢、またはランニングの体勢からスタートすることができます。
- ④犬は4つのハードルを飛び越え、ボックスのペダルを踏み、ボールを啜えたまま4つのハードルを飛び越え、戻って来ることとします。
- ⑤走行中の犬がハードルを転倒させた場合は、そのハードルが立っていると仮

定して飛び越えていれば失敗とはなりません。ただし、メンバーは走行の妨害又は誘導とならない限り、ハードルを立て直すことができます。

- ⑥犬の身体の一部が、スタート・フィニッシュラインを通過した場合にゴールとします。
- ⑦妨害により、当該ヒートのタイム計測ができなかった場合は、再度当該ヒート及び残りのヒートをダミー犬と行うこととします。

## 9 違反

チーム競技において、出陳犬が次のいずれかに該当した場合、当該犬はチームの最後尾で再度走らなければなりません。個人競技の場合、そのヒートは無効となります。

- ①出陳犬がフライングと判断された場合。
- ②出陳犬がいずれかのハードルを飛び越えなかった場合。
- ③出陳犬がボックスのペダルを踏まなかった場合。
- ④出陳犬がボールを啜えずにフィニッシュラインを通過した場合。
- ⑤ハンドラーの足がスタート・フィニッシュラインを越えた場合。ただしチーム競技においてハードルを立て直す場合又はボールを拾う場合は除きます。
- ⑥ハンドラー又はボックスローダーによるアシストがなされた場合。

## 10 ヒートの中止

競技中、メンバー又は出陳犬が次のいずれかに該当した場合、当該チーム又は当該犬のヒートは中止とします。

- ①出陳犬が競技に意欲を見せない場合。
- ②出陳犬がレーンに排泄した場合。
- ③出陳犬が逸走した場合。
- ④出陳犬又はチームのメンバーが、一方の出陳犬又はチームを妨害した場合。ただし、出陳犬がボールを追うことは妨害とみなされません。
- ⑤メインジャッジが中止と判断した場合。

## 11 失格

次のいずれかに該当した場合、当該チーム又は当該犬は失格となります。

- ①出陳犬又はチームのメンバーによる妨害が度重なった場合。
- ②メインジャッジが失格と判断した場合。

## 12 規制

ハンドラーは次の行為を行ってはなりません。

- ①審査員に対する暴力行為及び暴言。
- ②出陳犬に対する暴力行為。
- ③審査中の関係者に対する抗議行為。

## 13 入賞

〈特別表彰〉

次の出陳犬に理事長賞を授与します。

- ①チーム競技の1席。
- ②個人競技の各カテゴリー1席犬の内から1頭。

〈チーム〉

1席～3席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

〈個人〉

スモール・ミディアム・ラージ各カテゴリー毎に1席～5席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

## 14 フライボールチャンピオン (FB. CH) 登録制度

- (1)チーム競技で1席になったチーム4頭（ただし、決勝競技において2ヒート勝利することが条件となります）にFB. CH. ポイント3Pが付与されます。また、個人競技のスモール・ミディアム・ラージ各カテゴリーのベストタイムに1.0秒加えたタイム以内で完走した犬にFB. CH. ポイント2Pが交付されます。

〈チーム競技〉

フライボール競技大会（本部主催・東・西日本ブロック訓練士協議会主催）5P、ブロックフライボール競技会3P、ST連合会フライボール競技会3P、クラブフライボール競技会2P

〈個人競技〉

フライボール競技大会（本部主催・東・西日本ブロック訓練士協議会主催）3P、ブロックフライボール競技会2P、ST連合会フライボール競技会2P、クラブフライボール競技会2P

- (2)フライボールチャンピオン (FB. CH) 資格の取得と登録

- ①FB. CH. Pを20ポイント以上取得した犬に与えられます。
- ②FB. CH取得に際しては、CD II以上（GD、IPO、BHを含む）の訓練試験資格の登録をしなければなりません。加えて、DNA登録も必要となります。

- (3)FB. CH登録資格を満たした犬の所有者には、資格条件確認通知を送付します。資格条件確認通知を受けた日から3カ月以内に登録を完了して下さい。登録料は3,400円です。